

「ぼっかぼっか図書館」への大改造

出雲市立西野小学校

学習スペースの確保を軸に

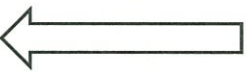
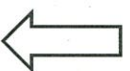


図書委員会の子どもたちとも相談し、子どもたちが親しみやすいよう、図書館を「ぼっかぼっか図書館」としました。



図書館で授業を行う際、学習スペースが分断されていました。そこで、学習スペースを一カ所に集めることを第一に、書架、机の配置を工夫しました。

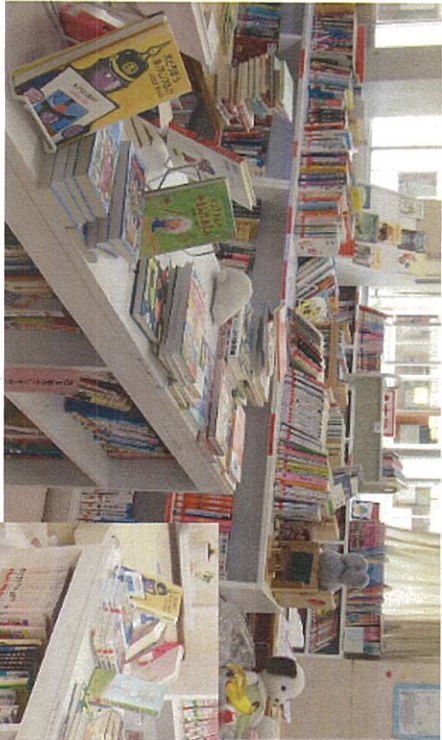
当然職員作業です！



この結果、全員の顔を見て指導ができるスペースが確保できました。また、調べる手がかりとなるO類を手に取りやすいよう、入り口近くの低書架に配置しました。



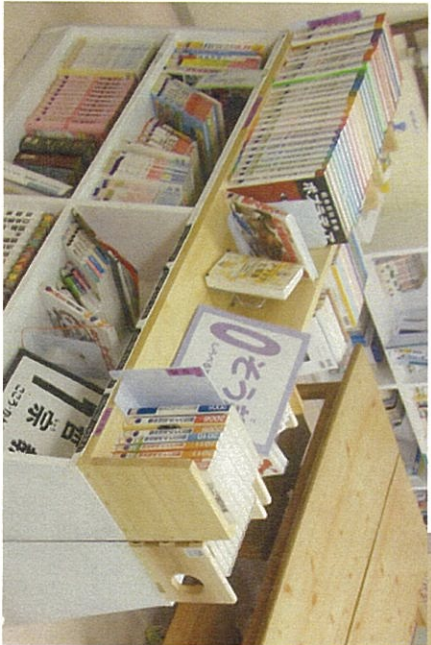
書架の増設と配架の工夫



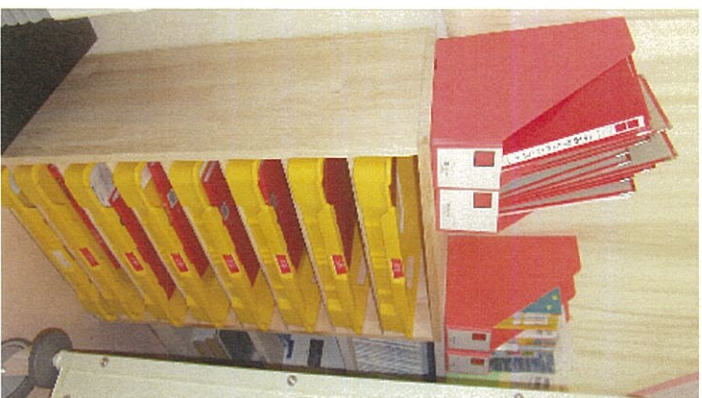
入りきらない本が、書架の上に平積みになったり、ブックエンドで立てたりしてありました。



まずは職員作業です！



ファイルボックスを使ったり、本立てを整備したりして、平積みをなくしました。



カラーボックスを利用したり、書架を増設したりしました。
また、学年別の資料の保管用に、児童機の引き出しを利用したファイルボックスを作製しました。



書架の一部、面出し書架を廊下に配置するなど、図書館内のスペースを確保しました。
また、NIE(新聞活用教育)に関わる展示スペースも設置しました。

「西野らしさ」を生かした図書館に



西野小学校は、「地球の秘密」の作者 坪田愛華さんの母校です。そこで、「両親の了解を得、
「アースくん」を図書館の
マスコットキャラクター
として掲示し、案内板に
もアースくんを活用しま
した。

廊下の展示スペースに「愛華ちゃん」コーナーを設置し、「地球のひみつ」やゆかりの品を展示しています。

